

計画段階評価の手続きについて

これまでの取組み経緯と進め方について

地 方 小 委 員 会

(H22. 12. 2)
第1回 地方小委員会
【審議事項】・地域の課題
・対象路線整備の目標

(H23. 1. 20)
第2回 地方小委員会
【審議事項】・対象路線整備の複数案の設定
・地域の意見聴取方法

(H23. 2. 17~H23. 3. 25)
●第1回コミュニケーション活動
【活動内容】
・アンケート
・意見聴取
・課題・目標
・対策案の妥当性

(H23. 7. 7)
第3回 地方小委員会
【審議事項】・第1回コミュニケーション活動結果を踏まえた第2回コミュニケーション活動の実施方法

(H23. 10. 5)
第4回 地方小委員会
【審議事項】・第1回コミュニケーション活動結果を踏まえた第2回コミュニケーション活動の実施方法

(H24. 1. 27~H24. 2. 27)
●第2回コミュニケーション活動
【活動内容】
・アンケート
・意見聴取
・対策案の評価
・オープンハウス

(H24. 4. 12)
第5回 地方小委員会

【審議事項】
・第2回コミュニケーション活動結果の報告
・中間とりまとめ
・追加的なコミュニケーション活動の実施方法

(H24. 7. 8)
追加的なコミュニケーション活動
(意見交換会)

【議事】
・これまでの活動報告
・意見交換

(テーマ)
・環境・景観について
・旧清里有料道路の活用について

(H24. 10. 4)
第6回 地方小委員会

【審議事項】
・意見交換会(平成24年7月8日)の報告
・自治体等からの意見の報告
・国土交通省あてに頂いた地域団体等からの意見の報告
・国土交通省あてに頂いた個人の方からの意見の報告
・中部横断自動車道(長坂~八千穂)の計画段階評価の進め方

ワーキンググループ
(WG)

【審議事項】
・ルートの検討

現在
第7回 地方小委員会

【審議事項(案)】
・山梨県内区間のルート検討
・地域とのコミュニケーション活動
・これまでの地域とのコミュニケーション活動の結果とりまとめ
・これまでのルート検討経緯
・対応方針(案)

対応方針の決定

●ワーキンググループ

【検討内容】
・ワーキンググループ(WG)は、山梨県内区間のルート検討を行う(山梨県境に近い長野県内区間の一部は必要に応じて対象とする)。
【検討方法】
・複数ルート案を確認の上、現地調査・地元説明会を経つつ検討を行い、ルート案をとりまとめる。
【進め方】

第1回WG
(H24. 11. 21)
・複数ルート案の確認
・現地調査の実施方針の確認

第2回WG
(H25. 1. 12)
・現地調査の実施

地元説明会
H25. 1. 30~
H25. 2. 16間
北杜市: 10回
南牧村: 1回
(延べ1,960人)

第3回WG
(H25. 6. 27)
・地元説明会の報告
・頂いたご意見の報告
・山梨県内区間のルート案とりまとめ

平成24年10月4日 関東地方小委員会(平成24年度第2回) 議事概要

○今後の進め方について委員長からの提案

- ・「南麓地域での整備への異論」や「旧清里有料道路の活用への懸念」が多くあったことから、案1(全区間で新たに道路を整備する案)を改良し、清里高原の南側のルートを含めて検討するワーキンググループ(WG)を設置すべき。
- ・WGの実施にあたっては、丁寧なコミュニケーション活動を行っていく必要がある。
- ・長野県内区間については、環境アセスメントの準備調査を行う段階に進んでも良いのではないかと。

○委員長からの提案について委員からの意見

- ・コストを無尽蔵にかければ良いというものではない。コスト縮減を念頭におきつつ、ルート検討を進めるべき。
- ・清里地域は、観光資源が豊富で、知名度の高い地域。
ルート(IC)が近ければ良いというものではないので、アクセス道路等も含めてルートを検討をするべき。
- ・ルート帯の外側(南側)を含めて検討することは良いことであるが、新たに対象となる地域のコミュニケーション活動をしっかり行う必要がある。

主な意見	対応状況
・ワーキンググループ(WG)を設置すべき。	・平成24年11月21日に第1回WGを開催。 ・その後、第2回WG(平成25年1月12日)、第3回WG(平成25年6月27日)を実施した。
・WGの実施にあたっては、丁寧なコミュニケーション活動を行う必要がある。	・WG開催期間中に、地元説明会を開催し、意見を聴取した(平成25年1月～2月に6箇所計11回開催)。
・長野県内区間は、環境アセスメントの準備調査を行う段階に進んでも良いのではないかと。	・環境アセスメントの準備調査(文献調査、猛禽類調査)を実施中。
・コスト縮減を念頭におきつつ、ルート検討を進めるべき。	・今後、コスト縮減を念頭において、ルート検討を進める。
・アクセス道路等も含めてルート検討をするべき。	・今後、アクセス道路等も含め、ルート検討を進める。
・新たに対象となる地域のコミュニケーション活動をしっかり行う必要がある。	・WG開催期間中に、地元説明会を開催し、意見を聴取した(平成25年1月～2月に6箇所計11回開催)。